

# 20名の方が府職労に加入 組合に入って本当に良かった 力を合わせ要求実現へ職場から声を上げましょう



いつも元気な病棟婦のみなさんです

## 新春座談会



井高さん

### 成人病センター支部病棟婦のみなさん

大原・府公職労書記長 芝山・病院労組委員長

## みんなで要求 年末年始手当実現



大原さん

成人病センター支部では、非常勤の病棟婦さんたちが、去年20名府職労に加入し、元気に活動しています。要求を持ち寄り、交渉する中で実現したこともあります。今回は、そんな病棟婦さんたちを集まっていたとき、府公職労書記長の大原さん、病院労組委員長の芝山さんと座談会を行いました。

大原 新年明けましておめでとうございます。成人病センター支部は看護婦さんをはじめ、組合員さんが元気にがんばっている職場ですが、今日はその中でも昨年たくさんの方が組合員に加わってくださって、大変元気が成人病センターで働く非常勤病棟婦さんたちの話を聞きながら、大阪府で働く非常勤の皆さんに元気がなくてもいい、そして、組合に入ってもらいたいという趣旨で集まってもいいです。

井高 20名を超える方が、労働組合にはいってほしいという決意した動機は何があったのでしょうか。

大原 今時給はいくらですか。1000円です。大原 低賃金、雇用不安で、まじめに働いても年収が200万円とどかない。病院で働く非常勤の実態も同様です。特に青年の5割が非正規です。自分で働いてもお金で生活できない、将来に希望が持てない、結婚もできない。府職労では、

今、労働者派遣法の法律を変えていくという運動を取り組んでいるんです。ヨーロッパもよく言われるが、ヨーロッパにも派遣パートもいるが、時給で換算したら正社員と同じ。違うのは、労働時間だけ。労働者の側が、どういう働き方をするのか選べる。そういう人間らしい働き方という点で、全然違う。日本は使い捨て。去年の年末に首都東京に派遣村が出現したが、そういう状況が、今年も起こってきた。こういう職場こそ、時給の引き上げや労働条件の向上が必要なんです。みんなが団結していきたくて思っています。

井高 私の年代は、まだめどね、仕事ぶりが、サービスマンや残業もやらないの

## 未加入者に声をかけ 今度は昇給制度の実現を

井高 それはどうしたらいいんでしょう。

芝山 みんなの要求を集めてもらって、一緒に交渉に参加したらいいんですよ。この前(年末年始手当の時)も、そういう風になったんです。

井高 みんなの意見まとめて、みんなで交渉しよう。みんなの意見一つにしないとね。

大原 職場であつて何人くらいい入ってない人いるんですか。

井高 7人ほどかな。

大原 みんな入ってもらうことが重要ですね。力になるから。

井高 それぞれ、考えがあるみたいですが、入ってやめた人もいます。でもその



芝山さん

にやっつしまふんです。大原 サービスマンや残業は法律違反です。井高 朝なんか7時半出勤なんて人誰もいません。みんな7時から来ているんです。お茶をいれないと間に合わないから、7時15分からスタートして4時に帰らせようってことができないかと思っています。(勤務時間は、7時30分〜4時15分)。

大原 サービスマンや残業が当然の前にならなければいけません。

## 堂々と発言できることが すばらしいこと

井高 みなさん、声上げましょう。はい。何回もめげず。大原 自分たちの要求は、自分たちで解決していきましょう。そういう姿勢が大事です。井高 そういふ発言が今

## 病棟婦さんとは

病棟に配属され、病室の掃除、患者様のベッドメイキング、お茶を入れて配る、食事の配膳や下膳、カルテの搬送など、病棟でのこまごました仕事をしています。朝早い出勤であることや、患者さんとの触れ合いなどが多く、子育てが一段落した40〜50代の方が多く、患者様のため、病棟を走り回ってがんばっています。

## 大きな運動で府民のへらへらを守り 私たちの願いも前進させよう



大阪府関係職員労働組合 執行委員長 平井 賢治

新年明けましておめでとうございます。昨年、8月の総選挙で「格差と貧困をなくせ」「構造改革推進の自公政治を萎えよう」との国民の大きな力が、自公

政治を崩壊させ、民主党を中心とする新しい政権を誕生させました。1月早々には通常国会が開かれ、来年度予算案をはじめ、労働者派遣法の改正、子ども手当、

授業料無償化などの法案が審議されます。今春闘では、文字通り、労働者派遣法の抜本改正と最低賃金1千円以上の実現など、賃金底上げ、非正規労働者の待遇改善を求め全労働者の団結した取り組みが求められています。また、7月には参議院選挙が行われますが、大企業や大資産家優遇の経済運営ではなく、国民中心の福祉や社会保障の拡充、労働者や中小企業、農業が元気を取り戻

す政治に大きく転換させる絶好の機会です。大阪府政も橋下知事の折り返し点を向かえ、府職員の賃金労働条件問題では、特別休暇や特殊勤務手当の改善反対の取り組みが1月末には山場を迎えます。また、人件費の大幅削減や本庁舎のWTC移転問題など多くの課題が提案されてきます。9月に向けては府民の課税の更なる切捨てを狙う「ポスト財政再建プログラム」の策定、大阪版

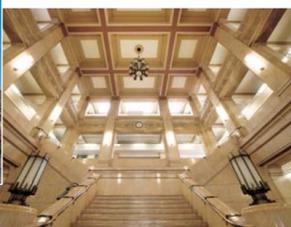
市場化アサトの拡大や市町村への事務移譲の本格化など大阪府解体路線が進められます。これらの攻撃や悪政に反対し、府民生活を守れる運動を大きくすれば、構造改革路線の破綻から生まれた民主党を中心とする政権とあくまで構造改革路線に固執する橋下知事との間で矛盾がより一層拡大し、府民が実体験を通して、橋下府政の「虚像」と府民性を認識することは明らかです。今年も、もう一回りも二回りも大きな府民共同をつくり、橋下府政の転換と府民のくらしを守り、私たちの願いも前進させましょう。

## 府庁舎、大阪城、難波宮など一体となった 歴史と文化息づく住みよい街づくりを

中央区街づくりネットワーク 楠田 るみ



1926年完成の歴史的建造物。都道府県庁舎では一番古い



玄関正面の総大理石の吹抜ホール。映画のロケに使われた事もある

昨年11月24日に私たち「中央区街づくりネットワーク」が主催した府庁舎移転を考えるシンポジウム「I LOVE 大手前府庁舎」に、府職労のみなさんが多数ご参加いただきました。中山徹奈良女子大学准教授に講演していただき、地元中央区の梅本府議や、日本共産党の宮原府議も参加、会場からも活発な発言が相次ぎました。私たちがWTC移転だけでなく、関西財界が狙っている大手前周辺の再開発にも「ストップ・ザ・コンクリートジャングル、住み続けられる街づくり」を発信していきたくて意見を新たにしました。

昨年、府の職員も私たち府民もこの知事に振り回された感がありますね。「えっ？何で府庁舎をよりによってWTCへ？」と知事発

「昨年11月24日に私たち「中央区街づくりネットワーク」が主催した府庁舎移転を考えるシンポジウム「I LOVE 大手前府庁舎」に、府職労のみなさんが多数ご参加いただきました。中山徹奈良女子大学准教授に講演していただき、地元中央区の梅本府議や、日本共産党の宮原府議も参加、会場からも活発な発言が相次ぎました。私たちがWTC移転だけでなく、関西財界が狙っている大手前周辺の再開発にも「ストップ・ザ・コンクリートジャングル、住み続けられる街づくり」を発信していきたくて意見を新たにしました。」

昨年、府の職員も私たち府民もこの知事に振り回された感がありますね。「えっ？何で府庁舎をよりによってWTCへ？」と知事発

今年も私たちは良識ある府民と力を合わせ、理不尽な大阪版の知事物申し続けます。府職労のみなさんのご協力、活躍を期待しています。

これからの課題は、大阪の文化と知性を代表する知事を生み出すことではないでしょうか。

昨年11月24日に開催されたシンポジウム



黒田知事からかわって以降、岸昌(閣内推進)、中川和雄(政治資金疑惑)、横山ノック(セクハラ知事)、太田房江(政治と金)、橋下徹(大阪府解体)の歴代の知事は、府民の暮らしをかえり見なくなっています。